

令和8年度第1回大磯町地域公共交通会議 会議録

日 時 : 令和8年6月18日(木) 14時00分～15時15分
場 所 : 大磯町役場本庁舎4階第2委員会室
出席者 : 12名 [鈴木会長、橋山委員代理、杉崎委員、鳥澤委員、佐宗委員代理、
吉田委員代理、菊田委員、二宮委員、伊澤委員、春原委員、
八島委員、河津委員]
欠席者 : 3名 [小堤委員、井上委員、山本委員]
傍聴人 : 2名
資 料 : 資料1 : 西小磯東区の一部地区における乗合タクシーについて
資料2 : フィーダー補助の概要
資料3 : 交通不便地域指定申請書(案)
資料4 : 生活交通確保維持改善計画(地域内フィーダー系統確保維持
計画を含む)(案)
資料5 : 富士見地区補助路線バス令和7年度実績報告
資料6 : 補助路線バスの撤退について

1 開 会

2 議 題

- (1) 西小磯東区の一部地区における乗合タクシーについて
事務局から資料1に基づき説明

○質疑応答

【委員】

令和7年度になって運行便数、利用者数などが大きく増加しているが、何らか特段の事情があるのであれば教えてほしい。

【事務局】

7年度の利用者数増加については、年度当初に乗降場所の移動の機会に合わせ、住民の皆様に利用のパンフレットを回覧、特に赤坂地区では全戸配布し、周知を徹底した。これにより乗合タクシー制度が改めて認識され、さまざまな需要の掘り起こしに

繋がったと受け止めている。

【委員】

1日当たりでは、利用者数が増えて2人以上の乗合率が低下している。それだけ運行会社の負担増が気になる。バスもそうだが、乗務員の確保が課題となっており、各社ともそれに力をいれている。来年度以降もこの事業をずっと続けていけるのか心配するが。

【委員】

当社では、毎年60～70名ほど新人の乗務員を採用できているので、今のところ、この事業が負担になることはない。日中の30分間隔の運行であり、大磯の日中の時間帯のピークは他の地域と比較しても、突出してこの時間帯だけが忙しいということはないので、今後ともサービスの提供は続けられると思う。

【委員】

たまたま乗り合わせた利用者は2人以上の乗合者数としてカウントしていないとのことだが、指標としては乗合でカウントしても有効なので、取扱いを検討してほしい。

【事務局】

乗合率の考え方は指摘の箇所を改めて確認する。

【委員】

関東運輸局の事業評価について、「地域全体の移動の足が確保されていることが重要であることに留意」との評価のため、新しい地域での展開も視野に入れていくことも必要ではないか。

【事務局】

本年8月末には補助路線バスが撤退し、新たな公共交通空白地域が生じるため、そこでの展開も検討していきたい。

(2) フィーダー補助の概要について

事務局から資料2に基づき説明

【会長】

地域公共交通会議で地域の課題について真剣に考えていることが町民の皆様に伝われば、会議の意義が出てくるのではないか。

(3) 交通不便地域指定申請書（案） 【承認案件】

(4) 生活交通確保維持改善計画(案) 【承認案件】

(地域内フィーダー系統確保維持計画を含む)

事務局から資料3及び資料4に基づき説明

案のとおり承認されたため、事務局で申請の手続きを進めることとなった。

3 報 告

(1) 富士見地区補助路線バス令和7年度実績報告

(2) 補助路線バスの撤退後について

事務局から資料5及び資料6に基づき説明

【委員】

タクシー助成で目的地にヤオマサは入るのか。また、通学用に使用する車両はマイクロバスの乗車定員で大丈夫か。

【事務局】

ヤオマサも参加する。通学車両については保護者申請の結果、マイクロバスでも余裕がある利用人数であることが確認できている。

【委員】

近いうちに、それぞれの地区で説明してくれるということで大変感謝している。説明会の中でも、地区から意見や要望が出てくると思われるし、やり始めて実際にやってみると改善点も出てくると思われるので、予算の関係もあるが、柔軟に対応していただきたい。

6月10日国土交通省発表によると、鉄道やバス利用が困難な交通空白地区が全国に2740箇所あるが、その解消に向けて体制を整備している自治体を認定し、財政支援する制度があるようなので、活用を検討していただきたい。

【委員】

タクシー助成は大変ありがたく、9月から実際どうなるか興味を持っているが、平日しか使えないのはどうかと思う。かつてのバス路線は土日も運行しており、住民の方だけでなくいろいろな方にも利用されていた。私も仕事の関係で利用し、便利さを実感していた。今後、この事業を継続させる中で、土日の運行も考えていただくことと、地域の賑わいにも繋げる発想もお願いし、より良いものにしていただきたい。

【会長】

補助路線バス廃止後の新しい形になるので、地元には丁寧に説明していく必要があ

る。また、振り返りは必ず行い、検証のうえ改善すべき箇所を洗い出してほしい。土日を利用したい要望はすでに出されているので、どのあたりまで対応できるのか今後検討することと考える。この終了する路線のことだけではなく、町全体、子どもから高齢者までの交通について、庁内の関係部署で話し合い、この会議で意見を検討するといったことも必要だと感じている。

【委員】

タクシー助成の事業内容（スライド2）には、利用できる曜日を入れるなど、修正したほうが分かりやすい。

【事務局】

修正した資料で地区説明を行っていく。

【委員】

登校時に使用する借上げバスはどのような運行形態になるのか。

【事務局】

バス会社が所有する車両（緑ナンバー）をバス会社の社員が運転する。

4 その他

【事務局】

令和8年度の地域公共会議は2回開催し、第2回は12月頃を予定している。令和6年に策定した大磯町地域公共交通計画の進行管理、計画内容の確認などを行う予定である。

5 閉会

以上